

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人
飯南町社会福祉協議会

令和2年度 事業報告書目次

【全体】

令和2年度事業活動概要 ～はじめに～	1項～ 2項
-----------------------	--------

<各課からの事業報告>

【総務課】

1. 諸会議	3頁～ 5頁
2. 諸規程の整備	6頁
3. 地域公益活動	6頁
4. 情報開示の状況	6項
5. 自主財源の確保	7頁
6. 公的財源の確保	7頁
7. 福祉・介護人材の安定的な確保と定着	7項
8. 基金活用による地域住民への還元	7頁
9. 職員育成研修と資格取得の推進	7頁
10. 職員の福利厚生	8項
11. 外部研修・各会議への参加	8項～ 9項
12. 島根県共同募金会 飯南町共同募金委員会	9項～ 10項
13. 日本赤十字社島根県支部 飯南町分区	10頁
14. 苦情受付	10頁

【地域福祉課】

1. 小地域福祉活動推進事業	10頁～ 11頁
2. 生活支援体制整備事業	12頁
3. 総合相談事業	12頁～ 13項
4. 日常生活自立支援事業・法人後見事業	13頁～ 14頁
5. ボランティアセンター事業	14頁
6. ふれあいいきいきサロン事業	14頁～ 15頁
7. いーなんシルバーおたすけ隊運営事業	16頁
8. 配食サービス事業	16頁～ 17頁
9. 福祉教育推進事業	17頁～ 18頁
10. 地域福祉諸団体との連携事業	19頁
11. 単身高齢者、高齢者世帯事業	20頁
12. 生活福祉資金・民生融金相談受付・貸付事業	20頁～ 21頁
13. 災害時における災害ボランティアセンターの設置運営	21項～ 22項
14. 出張及び研修	22項
15. 苦情受付	22頁

【在宅福祉課（通所介護事業係）】

1. 介護保険事業	23頁～ 24頁
2. 障がい者自立総合支援法による事業	24頁

3. 高齢者生活福祉センター管理運営事業	25頁
4. 研修	25頁
5. 会議	25頁
6. 交流事業・実習等受入れ	25項
7. 避難訓練	26項
8. 苦情受付	26頁
9. 利用状況	26項

【在宅福祉課（訪問介護事業係）】

1. 主な事業内容	27頁
2. 利用実績	28頁～29頁
3. 職員の健康管理	29頁
4. 苦情受付	29頁
5. 利用状況	29頁

【あかぎの里】

1. 利用状況	30頁
2. 主な状況報告	30頁～31項
3. 会議開催状況	31頁
4. 地域交流・ボランティア受け入れ	31頁～32項
5. 実習等受入れ	32頁
6. 行事	32項
7. 内部研修（法令研修等）	32頁
8. 研修（外部）・出張・会議参加状況	32頁
9. 苦情受付	33頁

【居宅支援課】

1. 職員体制	33頁
2. 利用状況	33頁～34頁
3. 事業状況	34頁～35頁
4. 状況報告	35頁
5. 苦情受付	36頁

【総合相談業務（包括支援センターブランチ業務）】

1. 事業状況	36頁～37頁
---------	---------

【保育所】

1. 令和2年度児童数異動一覧	41頁
2. 土曜保育利用状況・一時預かり保育利用状況	37項
3. 実施した主な行事	37頁～38頁
4. 職員研修会の参加	38頁
5. 各種会議の開催	39頁
6. 子育て支援センター活動報告	39頁
7. ファミリーサポートセンター	39頁
8. 保育士確保対策事業	40頁
9. 苦情受付	40頁

事業報告 令和2年度の事業活動概要

～はじめに～

法人運営部門では、

社会福祉法人の経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の確保、財務規律の強化や地域における公益的な取組みに対応すべく当社協の基本理念であります「一人ひとりのつながりを大切にし、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を役職員の使命として地域福祉活動を進めました。

令和2年度初めからコロナウイルス感染拡大の中で、感染防止対策を随時検討しながら事業を進めましたが、各部門とも計画しておりました事業の一部中止や次年度への延期、また規模を縮小しながらの事業運営となりました。各種会議及び研修会においては、コロナ感染を防止することからオンラインを活用した会議・研修会に変更され実施されるケースも多くありました。

人材確保等による組織体制の強化は、今後の事業運営において大変重要であります。これに対応すべく飯南町人材確保支援センターやハローワーク等関係機関と連携しながら確保に努めましたが、令和2年度は、保育士1名のみの採用となりました。

また、安定化した法人運営を展開していくための財源を確保することはもとよりですが、会員会費など、地域住民の皆様から託された貴重な財源を扱っているという意識をもって、不要、過剰な支出は避ける等、適正かつ公正な支出管理を行うことで財務規律の強化に引き続き取り組みました。

地域福祉推進部門では、

地域では、コロナ禍において、高齢者等の孤立や、それに伴うADLの低下、困りごとがないか生活困窮の状況ではないか等、関係機関との連携をとりながらの多くの支援に時間を費やしました。

7月13日から14日に降り続いた大雨により平成30年度と同様、江津市、川本町、美郷町において豪雨災害が発生し、住宅の浸水等も複数あり、江津市においては災害ボランティアセンターが設置されたところですが、島根県下の社協に対するボランティアの派遣要請等はありませんでした。度々発生する災害に対応するため、今年度は、これまで取り組めなかった「災害支援ボランティアセンター設置・運営」について、当社協職員をはじめ関係機関においても研修会を実施することで、防災に対する意識づくりや普段からの地域住民同士の繋がり大切さや、災害ボランティアセンターについての理解を深める機会が持てたことは大きな収穫であり、今後も継続してまいります。

在宅・施設サービス部門では、

在宅系の通所介護事業・訪問介護事業サービスでは、医療依存度が高い利用者の入院が増加するとともに、在宅介護における家族の負担増の中で介護施設入所の希望が増加している状況にあります。

これらのことから、通所介護サービスにおいては介護実利用者数の減で月別利用率の低下、訪問介護サービスにおいては介護利用者数の減による訪問回数の減少がありました。居宅支援事業においても令和2年度10月頃から契約件数が100件を下回り、現在では90件台となり実利用件数も減少しており、これらのことは介護保険収入の減少に直結しています。中でも近年の通所介護事業サービスの利用状況を検討し、令和3年度から通常型サービスから地域密着型サービスに変更することと致しました。

一方、特別養護老人ホーム「あかぎの里」の令和2年度における平均稼働率は、長期入所が95.7%、短期入所（ショートステイ）は73.7%で、ほぼ満床に近い状況が続いています。

保育所部門では、

町内4保育所の保育業務については、保育の充実を目指すとともに、町と連携を図りながら取り組みました。

令和2年度中は、各保育所においても全国的な新型コロナウイルス感染拡大のため、大きな行事を中止せざるを得ない状況が続きましたが、7月頃から感染が落ち着いたことや、具体的な予防対策も把握できたことから、感染予防を徹底しながら可能な範囲で事業を再開しました。

「自然体験活動事業」（森の幼稚園）や、図書館職員の方や学校の生徒による読み聞かせ等、子供たちが楽しみにしている事業も再開できました。

懸案であった低月齢児（6ヶ月以上）の受け入れ実施については桜ヶ台保育所のみとし、入所にあたっての検討会議も3回実施し、令和3年4月1日からの受入れ開始の準備を行い体制が整いました。

また、近年、増加傾向にある“支援を必要とする子どもへの対応について”学習するため「特別支援に関する研修会」を年間3回実施し、理解を深めるとともに保育職員の資質向上に努めました。

I. 総務課

1. 役職員会議

(1) 理事会等の開催

回数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回 理事会	令和 2年5月28日 来島高齢者生活福祉センター 理事 12名／14名中 監事 3名／3名中	報告事項 ・令和元年度専決補正予算の報告について 議案 ・令和元年度事業報告の承認について ・令和元年度決算の承認について（監査報告） ・令和2年度資金収支補正予算（第1回）について ・令和2年度定時評議員会の開催について
第2回 理事会	令和2年11月 2日 来島高齢者生活福祉センター 理事 13名／14名中 監事 3名／3名中	報告事項 ・職務執行状況の報告について ・臨時職員就業細則の一部改正について ・通所介護事業所の事業所規模（定員）の転換について ・令和2年度 中間決算及び上半期事業報告について（監査報告） 議案 ・令和2年度資金収支補正予算（第2回）について ・評議員候補者の推薦について ・令和2年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について ・令和2年度第2回評議員会の開催について
第3回 理事会	令和3年 1月25日 来島高齢者生活福祉センター 理事 13名／14名中 監事 3名／3名中	報告事項 ・評議員選任・解任委員会の開催結果について ・令和2年度島根県実地監査の実施結果について ・来島保育所保護者からの苦情・要望に対する飯南町保育所第三者委員会の意見について 議案 ・令和2年度資金収支補正予算（第3回）について ・インターネットバンキング利用規程の一部改正について ・令和2年度第3回評議員会の開催について
第4回 理事会	令和3年 3月18日 来島高齢者生活福祉センター 理事 12名／14名 監事 3名／3名中	報告事項 ・会長及び常務理事の職務執行状況について 議案 ・令和2年度資金収支補正予算（第4回）について ・令和3年度 事業計画について ・令和3年度 当初予算について ・就業規則の一部改正について

		<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程の一部改正について ・経理規程の一部改正について ・クレジットカード取扱規程の制定について ・令和2年度第4回評議員会の開催について
--	--	--

回数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回 理事会 全員協 議会	令和2年12月15日 来島高齢者生活福祉センター 理事 10名／14名中 監事 2名／3名中	議題 <ul style="list-style-type: none"> ・「成年後見制度に係る近年の動向と役割」について 岡崎法律事務所 鳥居竜一 弁護士

(2) 評議員会の開催

回数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回 評議員会	令和2年6月16日 来島基幹集落センター 評議員17名／21名中 監事 3名／3名中	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度専決補正予算の報告について 議案 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告の承認について ・令和元年度決算の承認について（監査報告） ・令和2年度資金収支補正予算（第1回）について
第2回 評議員会	令和2年11月11日 来島高齢者生活福祉センター 評議員18名／24名中 監事 3名／3名中	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・通所介護事業所の事業所規模（定員）の転換について ・令和2年度中間決算及び上半期事業報告について（監査報告） 議案 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度資金収支補正予算（第2回）について
第3回 評議員会	令和3年2月5日 みんなの広場来島交流センター 評議員17名／24名中 監事 2名／3名中	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度島根県実地監査の結果について 議案 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度資金収支補正予算（第3回）について その他 <ul style="list-style-type: none"> ・「飯南町災害ボランティアセンターの動き」
第4回 評議員会	令和3年3月30日 みんなの広場来島交流センター 評議員19名／24名中 監事 3名／3名中	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度資金収支補正予算（第4回）について ・令和3年度事業計画について ・令和3年度当初予算について

(3) 監査の実施

1) 一般監査

回数	開催月日・開催場所	監査内容
第1回 一般監査	令和2年 5月20日 来島高齢者生活福祉センター 監事 3名/3名中	令和元年度 決算監査 (平成31年4月1日～令和2年3月31日) ○令和元年度事業報告 ○資金収支計算書・事業活動収支内訳書 財産目録・貸借対照表
第2回 一般監査	令和2年10月20日 来島高齢者生活福祉センター 監事 3名/3名中	令和2年度 上半期監査 (令和2年4月1日～令和2年9月30日)

2) 内部監査

回数	開催月日・開催場所	監査内容
第1回 内部監査	令和 2年 7月30日	介護保険事業所のサービスの流れを「各事業利用契約書等」に基づき、あかぎの里入所者の預かり金を「入所預り金等管理規定」に基づいて監査を実施
第2回 内部監査	令和 3年 2月15日	飯南町社協会計処理について監査を実施

3) 飯南町監査

○実施日 令和2年10月2日
監査担当課 保健福祉課
受監部署 地域福祉課・在宅福祉課（通所介護事業・訪問介護事業）・居宅支援課

○実施日 令和2年8月7日
監査担当課 住民課
受監部署 保育所

4) 島根県実地指導監査

○実施日 令和2年11月6日
監査担当 島根県健康福祉部地域福祉課
受監部署 法人本部

○実施日 令和3年1月15日（立入検査）
監査担当 島根県地域福祉課
受監部署 法人本部

(4) その他会議の実施

- ・運営検討会議 毎月1回
- ・法人内部会議 年2回

(5) 飯南町社会福祉協議会会長表彰

- 1) 飯南町社会福祉協議会表彰実施要綱に基づいて、社会福祉活動に功労のあった2名の方に表彰を行いました。

被表彰者	安部栄範様	評議員
	鳥屋ケ原美子様	共同募金委員会審査委員

- 2) 飯南町社会福祉協議会職員表彰実施要綱に基づいて、5名の職員に永年勤続表彰(感謝状含む)を行いました。

2. 諸規程の整備

(1) インターネットバンキング利用規程の一部改正について

第8条「給与・賞与振込」の条文を追加規定しました。

(2) クレジットカード取扱規程の制定について

ETCカード利用に係るクレジットカード取扱について、カード使用について明瞭かつ適正に行うよう規定しました。

(3) 就業規則の一部改正について

第42条の「休日」、第47条の「特別休暇」、第50条の「産前産後休暇」、第52条の「宿直及び日直」について一部改正をしました。

(4) 給与規程の一部改正について

第4条の「給与の種類」、第12条の「給与の支払形態及び計算方法」、第19条「管理職手当」、第20条「職位手当」、第24条「深夜勤務手当」、第29条「特別勤務手当」、第30条「処遇改善特別手当」、第33条「受給資格」について一部改正をしました。

(5) 経理規程の一部改正について

第7条「拠点区分及びサービス区分」、第18条「予算管理責任者」、第30条「小口現金」について一部改正をしました。

3. 地域公益活動

当社協における活動において、無料または低額な料金で福祉サービスの提供を行いました。(日常生活自立支援事業の利用料半額助成、福祉団体の事務局預かり、サロンの普及活動、地域における一人暮らしの高齢者への見守り活動等)

4. 情報開示の状況

(1) ホームページによる情報開示については、開示必須の情報(事業報告、決算、役員関係規定)に加えて、社協だより、職員採用募集、義援金の募集を掲載し周知しました。

また、ホームページをリニューアルし必要な情報にアクセスしやすいよう改善しました。

(2) 財務諸表等電子開示システムへ掲載しました。

(3) 広報誌の発刊 年5回(4月・5月・7月・10月・1月)

5. 自主財源の確保

(1) 会費

会費については、年々世帯の減少とともに減収傾向で一般会費については昨年度より下回りましたが、賛助会員や団体会員の新規加入をお願いし、10件の事業所に加えいただきました。この会費については、令和2年度も地域福祉活動財源として活用し、地域に還元することができました。

6. 公的財源の確保

法人運営補助金については、概ね当初予算どおりの収入を得て、法人運営を円滑に行うことができました。

7. 福祉・介護人材の安定的な確保と定着

介護・保育にかかる人材確保については、県の福祉人材センターが主催する福祉の就職フェアへの参加はできませんでしたが、飯南町の定住担当者、ハローワークと連携を図りながら人材確保に努めました。また、飯南高校で行われるジョブフェアには今年はオンライン参加をし、飯南高校出身の新人職員に体験談やアドバイスをする機会を設け、飯南高校生や中学生にも福祉の仕事についてPRをしました。

8. 基金活用による地域住民への還元

(1) 典礼事業

- | | |
|----------|-----|
| 1) 斎壇等貸付 | 27件 |
| 2) 霊柩車 | 39件 |

(2) 寄附金等の状況

- | | | |
|---------|-----|------------|
| 1) 香典返し | 81件 | 2,433,000円 |
| 2) 一般寄附 | 2件 | 15,000円 |
| 合計 | 83件 | 2,448,000円 |

(3) 福祉用具の助成事業 町内 9カ所 福祉事業所へ

9. 職員育成研修と資格取得の推進

(1) 人権研修

開催月日	開催場所	内容
令和2年12月12日	来島交流センター みんなの広場	飯南町人権研修会
令和3年2月1日	社協ホール	パワーハラスメント防止に関する事例研修 (管理職員対象)

(2) 新任研修

- 令和2年度は、1名の新任職員が採用され内部研修及び採用後1カ月間は新任職員研

修日誌へ日々の気づき等を記入し、指導コメントをもらうことで、新たな職場環境での不安を取り除きスムーズな職場適応に努めました。

(3) 資格取得支援

- ・令和2年度は資格取得支援制度に規定する資格取得に向け、3名の職員がチャレンジし介護支援専門員に1名合格しました。また、介護支援専門員1名が資格更新を行いました。

(4) 資格取得状況

令和3年3月31日現在

資格名	取得人数	資格名	取得人数
社会福祉士	4名	介護支援専門員	13名(1名)
介護福祉士	37名(△2名)	管理栄養士	3名
看護師	10名(△1名)	2級ヘルパー等	19名(△2名)
保育士	44名(1名)	調理師	9名

※取得者の人数は延べ人数

()内は前年度からの増減数

10. 職員の福利厚生

- (1) 衛生委員会を開催し、職場環境の課題を共有し改善に努めました。
- (2) 健康診断の結果について再検査者の内、産業医から受診勧告があった職員には所属長から受診を奨励する等、職員の健康保持に努めました。
- (3) 健康増進法の改正により受動喫煙防止が義務化されたため、敷地内を全面禁煙にしました。また、正面玄関へ血圧計を設置したり等、健康にかかわる取り組みが評価され協会けんぽより「ヘルスマネジメント認定事業所」の認定を受けました。
- (4) 職員会の活動
 - ・例年開催する職員交流会とスポーツ交流会はコロナ禍のため中止となりましたが、職員会全会員に飯南町地域振興クーポンを配布し、社協職員として地域貢献活動の一環となる活動を行いました。
 - ・国道クリーンアップ作戦は各部署に分かれて実施
 - ・書籍助成事業の実施
 - ・災害義援金への協力(令和2年7月豪雨災害、熊本県南豪雨災害、福岡県豪雨災害、福島県台風19号災害、長野県台風19号災害)

11. 外部研修・各会議への参加

主な職員研修・会議

年月日	内容	参加人数	場所
令和2年6月18日 ～19日	保育士養成校訪問	1名	出雲市 松江市
6月26日	災害VC勉強会	1名	松江市
7月27日	職場のハラスメント防止対策説明会	1名	松江市
8月27日	共同募金事務局長、担当者会議	1名	オンライン会議
9月1日	IT活用セミナー	1名	松江市
9月8日	保育士養成校訪問	1名	出雲市 松江市
9月8日	令和2年度雲南職域ネットワーク会議	1名	雲南市

9月10日	IT活用セミナー	1名	松江市
9月14日	令和2年度労務管理研修	1名	松江市
10月24日	島根県西部地震から2年 フォーラム	1名	大田市
10月28日	北陵認定子ども園訪問	1名	出雲市
11月10日	災害ボランティアセンター運営者養成講座	1名	出雲市
11月19日	危険物取扱者保安講習会	1名	松江市
12月14日	会計実務研修（上級コース）	1名	松江市
令和3年1月8日	島根県運営適正化委員会	1名	松江市
2月8日	津田法律事務所	1名	松江市
2月24日	令和2年度市町村共同募金会事務局長、 担当者会議	2名	松江市

12. 島根県共同募金会 飯南町共同募金委員会

(1) 実施期間 10月1日～12月31日

(2) 活動状況

- 1) 戸別募金 自治会へお願いをしました。
- 2) 学校募金 町内小中学校へ組立式募金箱を配布しました。(ドラえもん)
- 3) 街頭募金 コロナ禍のため中止としました。
- 4) イベント募金 //
- 5) 職域募金 職域を対象とした募金で役場、議会、社協職員に対して募金（クオカード販売：500円）をお願いしました。
- 6) 個人募金 戸別募金以外の個人の方に募金をいただきました。
- 7) その他の募金
 - ①募金箱の設置
町内の店舗・企業46カ所に依頼（内今年度新規8カ所）
 - ②社協事務所・あかぎの里窓口
カプセルトイ（ガチャ玉）、募金箱の設置
 - ③赤い羽根自動販売機設置
谷笑楽校、社協玄関、来島交流センターみんなの広場
 - ④募金百貨店プロジェクト
平成30年度から赤名酒造様にご協力をいただいています。

(3) 運営委員会

回数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回	令和2年5月28日 来島高齢者生活福祉センター	令和元年度共同募金委員会事業報告について 令和元年度共同募金委員会決算について
第2回	令和3年3月18日 来島高齢者生活福祉センター	令和2年度共同募金実績について 令和2年度共同募金（令和3年度事業）助成事業の決定について 令和3年度共同募金事業計画について 令和3年度共同募金当初予算について

(4) 審査委員会

回数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回	令和2年6月15日 来島高齢者生活福祉センター	令和2年度共同募金公募事業の審査について (審査件数 3件 助成額270,000円) 令和3年度赤い羽根共同募金助成計画及び審査について
第2回	令和3年2月17日 来島高齢者生活福祉センター	令和2年度赤い羽根共同募金実績について 令和2年度赤い羽根共同募金(令和3年度事業助成額決定(案))について

(5) 令和2年度 赤い羽根共同募金実績

戸別募金	2,060,000円	イベント募金	中止
街頭募金	中止	個人募金	7,500円
学校募金	43,266円	その他の募金	134,041円
職域募金	49,500円	合計	2,294,307円

13. 日本赤十字社島根県支部 飯南町分区

赤十字社員増強運動月間「会員募集」

令和2年5月1日～31日

会費	件数 1,510件	金額 1,065,000円
寄付金	件数 1件	金額 50,000円
合計	件数 1,511件	金額 1,115,000円

- ・弔慰金(不慮の事故死) 0件
- ・災害見舞金品 0件

14. 苦情受付

ありません。

II. 地域福祉課

1. 小地域福祉活動推進事業

◆各関係機関との細やかな連携のもと、まちづくりを一体的に進めていきます◆

(1) 福祉合同会議の開催

開催内容	参加者
令和3年2月5日(金) 18:30～ 於：みんなの広場 来島交流センター ○小地域福祉活動促進事業について ○非接触温度計の配布及び配置希望調査について 【研修】	各地区代表：27名 関係機関職員：3名 (集落支援員1名、 生活支援コーディネーター1名、中山間地域研究センター1名)

○「近隣市町村における地域住民による防災の取組について」 中山間地域研究センター 東良太氏	社協職員：6名 合計：36名
○「飯南町社協における災害ボランティアセンター設置・運営」	

(2) 小地域福祉活動促進事業（活動への助成金）

地 域 名	申請件数(件)	金 額
上町あんしん福祉会	5	14,200円
下町ふれあい福祉会	2	5,200円
上区草の根福祉会	0	0円
奥畑福祉会	1	8,200円
都加賀福祉会	5	24,400円
花栗いきいき福祉会	5	37,500円
寺沢福祉会	2	10,800円
長谷福祉会	1	2,600円
敷波福祉会	1	3,200円
佐見福祉会	0	0円
獅子まごころ福祉会	1	5,000円
川東福祉会	0	0円
川西福祉会	1	2,200円
志津見やすらぎ福祉会	1	2,400円
角井みんなの福祉会	3	7,600円
上赤名自治振興協議会	1	2,400円
赤名自治振興協議会	10	60,500円
下赤名自治振興協議会	0	0円
谷自治振興会	10	76,900円
上来島自治振興協議会	8	33,200円
小田真木自治振興協議会	10	56,600円
野萱自治区振興会	5	48,600円
下来島自治振興協議会	0	0円
(R2年度申請：18地区)	72	助成合計金額 401,500円 【財源】共同募金配分金 265,094円 会費、基金 136,406円
(R元年度申請：21地区)	123	1,067,200円

- ・令和2年度はコロナ禍において小地域活動が実施しにくい状況があり、例年に比べて小地域福祉活動促進事業の助成額が減少しました。今後においても感染予防をしながらの活動が必須であるため、各地域の集いの場に非接触式電子温度計を配布し、今後の活動に活用していただく事としました。（配布数 79ヶ）

(3) 『地域福祉活動計画』中間評価の実施

コロナ禍のため、次年度に延期としました。

2. 生活支援体制整備事業

◆高齢になっても地域で自立した生活を送れるように支援の体制づくりを進めていきます◆

(1) 地域課題の把握、社会資源の創出支援

例年より回数は大幅に減少となりましたが、各地区サロンや関係機関との連絡会に可能な限り参加し、個別訪問等でも地域課題の把握に努め、つながりづくりの意識啓発を行いました。

(2) 保健福祉課、地域振興課、各公民館等との一体化した事業の実施継続

1) 飯南町生活支援コーディネーター会議（コロナ禍の為、3回参加）

- 〈参加者〉・保健福祉課生活支援コーディネーター ・保健福祉課担当者
 ・社協生活支援コーディネーター ・地域振興課「小さな拠点づくり」担当者
 ・教育員会公民館事業推進担当者

2) 飯南町集落支援員連絡会（コロナ禍の為、3回参加）

〈参加者〉・地域振興課 ・5つの公民館単位の集落支援員

3) 雲南圏域生活支援コーディネーター連絡会議（コロナ禍の為、2回参加）

〈参加者〉・雲南市、奥出雲町、飯南町
 各市町の生活支援コーディネーター

(3) 集落实態調査からの課題、未来像を計画実行に移すための後方支援

【令和2年度 集落实態調査参加実績】

地区名	月 日	地区名	月 日
佐 見	① 9月14日	上 来 島	① 10月13日
	—		② 11月 2日
	—		③ 12月 1日
集落实態調査成果報告会	3月18日 （会場：みせん）		

3. 総合相談事業

◆生活課題を抱える人たちの総合相談機能を充実・強化し関係機関とともに支援します。

(1) 心配ごと相談『こもれば相談』の開設 毎月2回

相談件数 2件

(2) 無料法律相談の開設 隔月1回 → ニーズに応じた相談枠の拡大

相談件数 17件

(4月3件、6月3件、8月5件、10月3件、12月2件、2月2件)

財源：会費基金（相談員、弁護士への費用弁償）

(3) ひきこもり・不登校の当事者・保護者の相談場所『ぷらっと』の開設

毎週3回 月曜日、水曜日（14時～17時）、金曜日（9時～17時）

1) 開催日数：125日【令和2年4月1日～令和3年3月末】

※コロナ禍により1カ月半（4月中旬～5月末）休所

2) 来所者数 保護者： 24名（延べ） 実数5名

当事者： 80名（延べ） 実数5名

3) 1日利用者 平均数： 0.83名 ※令和元年度 0.8名

4) その他来所者（保健師、民生児童委員、元当事者保護者、見学等）58名（延べ）

5) 訪問活動の継続実施 声掛け訪問：10日 訪問支援：4日

- (4) 相談場所の周知、相談をつなぐ体制に向けた働きかけ（ポスター、パンフレットの活用）
- ・どんな相談も受け付け、繋いでいく広い窓口として、社協広報誌、ケーブルテレビにて事業の周知を継続して行いました。
 - ・相談内容別相談場所の紹介リーフレット（対応職員の写真入り）及びポスターを事業所や会合で配布し周知を図りました。
- (5) 相談者に応じた相談場所の設定
- ・来所、訪問等、相談者に応じた場所・時間で対応しました。
- (6) 相談員、サポーターの研修会への参加促進
- ・今年度は、ほとんどの研修会の中止により参加できませんでしたが、専門書籍購入によりスキルアップを図りました。

4. 日常生活自立支援事業・法人後見事業

◆高齢者や障がいのある方等が住み慣れた地域で安心して生活できるようふたつの事業の役割を活かしながら、各関係機関と連携した支援に努めます◆

- (1) 住民への各制度の周知、研修会の実施
- ・権利擁護事業を含む相談支援パンフレットを各種会合や事業所に配布し、周知に努めました。
- (2) 各関係機関（福祉事業所等）と連携した事業の推進
- ・保健福祉課(地域包括支援センター)、福祉事務所、松江成年後見センターとの連携
 - ・民生児童委員、他の市町村社協担当者、ケアマネジャー、各事業所との連携を強化することにより、相談体制の広がりと解決に向けてのチームアプローチでの支援に努めました。

【日常生活自立支援事業の利用支援実績】 ※（ ）は昨年度件数

- ・新規契約 5件（3件） 契約協議中 1件
- ・契約終了 0件（2件）
- ・自立支援事業利用者23名（17名）、うち1名は法人後見事業併用
- ・生活支援員 15名（13名）
- ・相談件数 535件（447件）

※本人、親族、知人、保健師、民生児童委員、福祉施設等からの相談をすべて含む。

※新型コロナウイルス感染症予防のため、令和2年5月、令和3年1月は専門員のみでの対応としました。

- (3) 生活支援員研修会への参加促進
- ・飯南町日常生活自立支援事業研修会の開催 令和3年3月10日（水）
支援員の資質向上、意見交換の場づくりのため飯南町社協独自で支援員研修会を継続して開催し、ゲートキーパー養成、コロナ禍での訪問時の注意についての理解も深めました。

- (4) 法人後見運営委員会の開催
- ・契約件数 1件(補助)
 - (第1回) 令和2年7月13日(月)
 - (第2回) 令和3年3月15日(月)

5. ボランティアセンター事業

◆多様な主体が協働し地域の生活課題を解決していくために、ひとりでも多くの方の理解を深め実動していただけるよう、啓発や育成、活動支援に努めます◆

(1) ボランティアの理解促進、及びボランティアの育成と強化

- ・サロンボランティアリーダー研修会の開催

(2) 小中学生対象のサマーボランティアスクールの開催

- ・コロナ禍の為、中止しました。

(3) 学校、地域での研修会、勉強会の実施

- ・福祉教育推進事業と併用した事業推進<9. 福祉教育推進事業 表参照>

(4) ボランティア活動支援

- ・赤来中学校ボランティアサークル『虹の輪』活動<9. 福祉教育推進事業 表参照>職員派遣 年間4回(延べ116名参加)

※新型コロナウイルス感染症予防のため9月より開始し、赤ちゃんふれあい学習・ニュースポーツ体験は取りやめました。。

6. ふれあいいきいきサロン事業

◆地域の憩いの場が充実し、継続できるよう支援をしていきます◆

(1) 新規立ち上げと継続支援

- ・新規サロン開始・・・1地区(頓原サロンだんだん)、大万木サロンは継続実施なし

○継続サロンへの助成 ※1団体上限30,000円

地区名 (前年度実績：開催回数、延べ人数)	積算明細			
	開催回数α	+	延べ人数×60円	= 合計金額
上赤名いきいきサロン(9回135人)	9,000円	+	8,100円	= 17,100円
北野下スマレ会(11回118人)	10,000円	+	7,080円	= 18,320円
向谷サロン(6回78人)	8,500円	+	4,680円	= 13,180円
赤名上市サロン(6回106人)	8,500円	+	6,360円	= 14,860円
赤名中市サロン(12回159人)	11,000円	+	9,540円	= 20,540円
赤名下市サロン(13回229人)	11,000円	+	13,740円	= 24,740円
赤名川サロン(12回218人)	11,000円	+	13,080円	= 24,080円
下赤名西サロン(9回109人)	9,000円	+	6,540円	= 15,540円
下赤名東散歩の会(11回90人)	10,000円	+	5,400円	= 15,400円
谷サロン(13回133人)	11,000円	+	7,980円	= 18,980円
上来島サロン(9回112人)	9,000		6,720円	= 15,720円
小田真木サロン(10回132人)	9,500円	+	7,920円	= 17,420円
奥小田サロン(3回32人)	7,500円	+	1,920円	= 9,420円
奥真木サロン(10回98人)	9,500円	+	5,880円	= 15,380円
野萱ふれあいサロン(9回135人)	9,000円	+	8,100円	= 17,100円

野萱長生き体操サロン (11回115人)	10,000 円 +	6,900 円 =	16,900 円
松本中部さくらサロン (12回165人)	11,000 円 +	9,900 円 =	20,900 円
上町サロン (2回39人)	7,500 円 +	2,340 円 =	9,840 円
下町サロン (4回58人)	8,000 円 +	3,480 円 =	11,480 円
はりど茶屋 (11回219人)	10,000 円 +	13,140 円 =	23,140 円
都加賀サロン (4回119人)	8,000 円 +	7,140 円 =	15,140 円
花栗サロン2ヶ所 (18回238人)	11,000 円 +	14,280 円 =	25,280 円
佐見サロン (4回51人)	8,000 円 +	3,060 円 =	11,060 円
寺沢サロン (8回169人)	9,000 円 +	10,140 円 =	19,140 円
長谷サロン (4回59人)	8,000 円 +	3,540 円 =	11,540 円
獅子サロン (5回50人)	8,000 円 +	3,000 円 =	10,000 円
川西サロン (3回55人)	7,500 円 +	3,300 円 =	10,800 円
しつみサロン (9回155人)	9,000 円 +	9,300 円 =	18,300 円
角井サロン (5回74人)	8,000 円 +	4,440 円 =	12,440 円
志々地区陽サロ (22回1013人)	11,000 円 +	60,780 円 ÷	30,000 円
川東サロン (4回120人)	8,000 円 +	7,200 円 =	15,200 円
はない茶屋 (22回457人)	11,000 円 +	27,420 円 ÷	30,000 円
令和2年度助成額計			548,700 円
		※令和元年度助成額計	560,420 円

○新規立ち上げサロンへの助成

地区名	積算明細	
頓原サロンだんだん	立ち上げ経費・初期費用	15,000 円
合 計		15,000 円

※財源：会費、基金

・令和2年度活動サロン・・・33ヶ所 (31ヶ所) ※花栗2か所を1サロンと数える

《令和2年度報告分 (令和元年度実績)》

年間延べ実施回数・・・291回 (289回)

参加者数・・・5,040人 (5,878人) ※ () は令和元年度報告分

職員派遣 (要望のある各サロンへ年2回)、資機材 (レクレーションに必要な備品、機材等) の貸出し

*コロナ禍においては、緊急事態宣言発令時にサロン活動自粛のお願い文書を配布、以降緊急事態宣言解除時には感染予防をしながらサロンを実施する為の留意点の周知、薬用泡ハンドソープを配布しました。

(2) サロンを通じ、地域住民との交流を広げるための情報提供

- ・感染予防、介護予防と健康づくり、防災等の情報を関係機関と共有推進しました。
- ・保健福祉課保健師、包括支援センターとの連絡・相談・報告 (随時) に加え、介護予防推進会議 (毎月1回) にて情報を共有し訪問等を実施しました。
- ・サロンボランティアリーダー研修の開催 (R3.3.5)
次年度以降のサロン活動協力のお願いと、サロンでの防災研修実施の働きかけ
関係機関の出前講座の紹介等

7. いーなんシルバーおたすけ隊運営事業

◆会員には知識や経験を活かす場を提供し生きがいや健康の増進を、利用者には低価格での利用を促進し、双方の支援活動を行います◆

(1) 新規会員募集の継続

中高齢者の福祉的就労支援の継続、人的確保登録PRについては個々に声掛け等を行い、各サロンや高齢者個別訪問時において利用促進周知しました。

○受託実績

【会員数：新規3名含む40名 実働22名】

【利用件数：延べ140件（R元年度145件）】

（ ）は前年度実績

作業内容	料金（1時間）	件数	請負金額
営繕修理	1,000円	2（0）	3,150円
植木等の剪定、伐採	1,100円	7（9）	57,960円
障子張替	800円	0（1）	0円
草刈り	1,100円	121（106）	1,590,252円
除草剤散布	900円	1（4）	3,623円
墓掃除	900円	0（4）	0円
家の掃除、片付け	800円	5（18）	20,160円
畑作業	1,200円	3（3）	41,370円
その他	800円	1（0）	1,680円
合計		145件 (238件)	1,718,195円 (1,722,919円)

(2) 安全・適正就労の促進、会員意見交換会の実施

会員との相互理解を図り、円滑な運営を行ないました。

・シルバー人材センター総会の開催

令和3年4月5日（月） 登録者13名参加

- ①令和2年度の飯南町シルバー人材センター実績報告（令和3年2月末時点実績）
- ②令和2年度の活動について
- ③意見交換

(3) 対象外のニーズについては事情を説明し、他機関へつなぎました。

8. 配食サービス事業

◆栄養バランスのとれた体に優しい弁当作りと、安否確認を兼ねた弁当の配送を行います。また、福祉教育やボランティアの育成に繋がります。

(1) ボランティアの協力のもと地域との連携を深めた円滑な運営

- ・新型コロナウイルス感染症流行の為、配食サービス事業を縮小して実施しました。（5月の緊急事態宣言の間、3回の配食中止、5回は優先順位の高い人のみの配食実施としました。）
- ・老人会の友愛訪問活動、配送ボランティア、職員等でお弁当をお届けし、声掛けや傾聴を実施しました。
- ・毎回のお便り、今日のレシピ、掛け紙等で弁当の楽しみが増える工夫を継続して行い

ました。

【掛け紙づくりのボランティアに協力いただいている方】

各保育所、赤来中学校サークル『虹の輪』、頓原中学校、飯南高校 J R C クラブ、サロン、デイサービス利用者、福祉事業所、個人

(2) 衛生面、安全面に配慮した事故のない運営

- ・調理作業前の衛生・体調チェックの強化を行いました。
- ・調理ボラ 3 1 9 名について年 1 回の検便を行いました。

(3) 若い世代や職域等からのボランティア活動への参加促進

- ・声掛けを行い、新規ボランティア登録をお願いしました。

○年間配食数

(※ボランティア、検食分除く)

配食数	赤来地域	頓原地域	合計
令和 2 年度	2, 1 8 7 食	2, 3 4 2 食	4, 5 2 9 食
令和 元年度	2, 2 3 0 食	2, 7 5 5 食	4, 9 8 5 食
前年度比	- 4 3 食	- 4 1 3 食	- 4 5 6 食

※例年に比べ、新規利用の方が増加傾向にあります。

9. 福祉教育推進事業

◆各学校、保育所や公民館とともに福祉教育を進めていきます。また将来福祉に携わる人材の育成を強化し、社協全体で取り組む体制を構築します。

(1) 各学校、保育所における福祉教育支援の継続と働きかけ

- ①テーマ 「様々な生活や生き方に気づく」
- ②ねらい 講義、交流、体験を通じ、様々な生活や生き方に気づき、他者の気持ちに共感できる力を育む。

③主な内容 保小中学校・高校への福祉教育

月 日	開催場所	内 容	協働機関	学 年	人 数	時間数
6 / 2 6	赤来中学校	総合的な学習（ふるさと学習） 「福祉&地域医療学習」	保健福祉課	1 年生 教員	1 年 2 3 人 教員 6 名 保健師	1 時 限
9 / 1 6	赤来中学校	福祉全校学習		全校生徒 教員	1 年 2 3 人 2 年 2 3 人 3 年 1 2 人	各 1 時限
9 / 1 8	飯南高校地 域生命学	単身高齢者訪問調査		3 年生 教員	高齢者 5 名 高校生 4 名 教員 1 名	3 時 間
1 1 / 1 3		単身高齢者交流会				
1 1 / 9	赤来中学校	サークル虹の輪 掛け紙づくり			生徒 1 7 人	放課 後
1 1 / 1 7	赤名小学校	障がいについての理解 パラリンピックについて パラスポーツ “ブラインドサッ カー体験” * 島根オロチビート		3・4 年 生	3 年 1 5 人 4 年 1 1 人 教員 4 名 教育委員会	3、 4 時 間

		浜田				
11/24 ～27	保育所	福祉人権学習		保育士	赤名 11人 来島 14人 桜ヶ台 12人 さつき 6人	各1時間
11/30	赤来中学校	サークル虹の輪 あいサポート学習		生徒	16人	放課後
12/18	赤名小学校	飯南町の高齢者福祉について 配食サービスの掛け紙づくり		5年生	5年生14人	3時限
R3年 2/6	頓原中学校	車椅子学習		中3生徒 保護者、 教員	22人	1時限
2/8	赤来中学校	サークル虹の輪 車椅子学習		生徒	20人	放課後
3/1	赤来中学校	サークル虹の輪 掛け紙づくり		生徒	24人	放課後

(2) 各公民館との協働と連携強化による福祉教育の推進

- ① テーマ 「自然災害からも命を守ることにつながる地域の見守り意識、体制づくり」
- ② ねらい 小地域の中で日常の見守り体制が確立でき、大雪、大雨、地震等の自然災害の時にも地域住民の生命を守る行動ができる。
- ③ 主な内容 小地域に出かけ、地域での見守り体制の確立に向けて情報提供・学び・意見交換を通して具現化していく。

月 日	参加先	内 容	協働機関	参加人数
4/8	川西老人クラブ	社協の取り組みについて		15名
6/12	都加賀福祉会	社協がすすめるサロンの目的について 年間計画づくり		10名
9/5	赤名公民館 親子防災キャンプ	避難所体験、防災クイズ、災害時持ち出し品の紹介、防災クッキング、避難訓練	赤名公民館	17名
11/30	下赤名東サロン	防災は日頃の関係づくりから	保健福祉課	20名
1/20	来島運動クラブ	フレイル予防についての話		9名
2/5	小地域福祉組織	小地域福祉活動促進事業について、防災学習、災害ボラセン運営について	役場、中山間研究センター	36名
3/5	サロンリーダー研修	サロン運営について、防災学習の取組み 出前講座の紹介	公民館、図書館、保健福祉課	35名

(3) その他会議への活動報告職員派遣、

月 日	会議名	対 象	内 容
7/15	地域ケア会議	町内福祉事業所等	『地域資源について』
3/27	山陰研究ブックレット 刊行記念シンポジウム	福祉関係者	山陰における生活困窮者支援について

10. 地域福祉諸団体との連携事業

◆福祉のまちづくりを地域福祉諸団体と協働して推進します。

(1) 当事者組織の活動支援、事務局としての継続支援

組 織 名	内 容	参加月日
老人クラブ連合会	頓原支部会長会	令和3年 3月14日(金)
身体障がい者協議会	役員会	6月1日(月)
	雲南障がい者グラウンドゴルフ大会	9月26日(土)
	役員会	9月28日(月)
	研修会(映画鑑賞会 in みんなの広場)	11月22日(日)
原爆被災者協議会	役員会	6月8日(月)
	総会	書面にて報告
	役員会	9月11日(金)
	日帰り研修会	中止
手をつなぐ育成会	飯南町家族会(やまゆり会合同)	7月10日(金)
	やまゆり会合同学習・交流会	9月16日(水)

(2) 関係機関との連携、協働事業の開発、調整

関 係 機 関 名	内 容	月 日
民生児童委員協議会	定例会・総務部会出席	各1回/月
民生児童委員・ 赤来中学校連絡会	合同連絡会議	令和2年 7月2日(木)
飯南町保健福祉課	飯南町高齢者等サービス調整会議	毎月1回
	介護予防推進会議	〃
	飯南町事例検討会議	〃
	飯南町地域包括支援センター運営協議会	年2回

その他：各ケース会議(随時)、あゆみの杜運営推進会議(隔月1回)

(3) 関係機関・団体との協働体制

- ・旧正月年越しそばの配布
実施企業：(有)一福 日時：令和3年2月12日
実施内容：コロナ禍により単身高齢者への調理済みそばの配布は取りやめ、入所施設へ生そばの寄贈のみ実施されました。
配布数：入所施設5カ所/18kg
協 力：各入所施設担当者
- ・単身高齢者、高齢者世帯へのカレンダー(共同募金の財源で作成)の配布
今年度より70歳以上の単身高齢者を対象に配布(昨年までは65歳以上)
カレンダー作成数：400部、町内入所施設へも10本ずつ配布しました。
配布の協力：民生児童委員

1 1. 単身高齢者、高齢者世帯事業（高齢者の生きがいと安心づくり事業）

◆訪問活動を継続し“安心と生きがいづくり”のお手伝いをしていきます。

(1) 70歳以上の高齢者世帯訪問の実施（実態把握、困りごとの相談、情報提供）

- ・単身高齢者世帯訪問：令和元年11月実施（昨年訪問件数）
赤名・谷：89件（88件） 来島：81件※居住部含む（83件）
頓原：87件（86件） 志々：41件（43件） 計300件（300件）
- ・情報収集、各種相談窓口のリーフレット配布と説明、世帯状況の把握、民生児童委員等との情報共有
- ・情報を把握整理し、支援の必要がある方については関係機関へつなぎました。

(2) 各関係機関と協働した敬老会の開催

- ・『敬老会（町と共催）』中止

1 2. 生活福祉資金・民生融金相談受付・貸付事業

◆低所得者、高齢者、障がい者等を対象にした資金貸付と、必要な相談支援を飯南町と連携し対応するとともに、他の福祉サービスに繋げることも視野に入れた事業運営を行います。

(1) 生活福祉資金の円滑な運営

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業からの収入減少がある方に特例貸付が実施され、福祉事務所とともに住民の生活維持に努めました。

○資金相談件数【生活福祉資金】

月	貸付			償還			その他	合計	備考
	電話	窓口	訪問	電話	窓口	訪問			
4	1	2						3	コロナウイルス特例資金3
5		1						1	コロナウイルス特例資金1
7		1						1	コロナウイルス特例資金1
9		1						1	コロナウイルス特例資金1
10	1							1	教育支援資金1
11	1	1						2	生活支援資金1 コロナウイルス特例資金1
12		1						1	コロナウイルス特例資金1
1		1						1	コロナウイルス特例資金1
3		2						2	コロナウイルス特例資金2
合計	3	10						13	

新規貸付：9件（4名 コロナウイルス特例緊急3件・総合3件・延長3件）
償還終了：1件

(2) 民生融金（緊急現金）の円滑な運営

○資金相談件数【民生融金】

月	貸付			償還			その他	合計	備考
	電話	窓口	訪問	電話	窓口	訪問			
4		1						1	貸付1
1		1						1	貸付1
合計		2						2	

※新規貸付：1件 ※償還終了：1件

(3) 飯南町の生活困窮者相談窓口（福祉事務所）と連携した借入申し込み世帯の生活課題の把握、課題への取組み

- ・担当者間での情報共有や状況に応じてケース会議を行い、協働による支援、困窮に至る原因の解明、自立支援対策にあたりました。
- ・生活状況の聞き取りで、関係機関と課題解決をともに考え支援を行ないました。

(4) 資金運営委員会の開催（定例1回、必要時）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、昨年度末予定した運営委員会を延期開催しました。
 （第1回）令和2年7月13日（月）
 （第2回）令和3年3月15日（月）

(5) 滞納者への返済指導強化

- ・島根県社協との連携
 令和2年12月10日（木）生活福祉資金滞納者に対する現地督励を実施しました。
 滞納件数の内、約半数が滞納月数の改善が図られました。

1.3. 災害時における災害ボランティアセンターの設置運営

- (1) 改訂版『災害ボランティアセンター設置マニュアル』の周知
- (2) 飯南町災害ボランティアセンター設置・運営研修会の充実

- ・マニュアルの改訂に伴い、実際の動きについて訓練の必要性があるため、飯南町社協独自で行いました。

○災害VC設置・運営研修会の実施

月 日	対 象	参加人数
8月27日（木） 18時～（90分）	社協職員 （主任以上管理職員）	役場総務課：1名 社協職員：25名
10月14日（水） 17時～（60分）	社協全職員	社協職員：25名 社協研修スタッフ：7名 役場総務課：1名 役場保健福祉課：2名
10月15日（木） 17時～（60分）		社協職員：24名 社協研修スタッフ：7名 役場総務課：1名

11月20日(金) 15時～(90分)	民生児童委員協議会	民生児童委員：30名 役場保健福祉課：3名 社協研修スタッフ：6名
2月5日(金) 14時半～(30分)	社協評議員会	評議員：17名 理事：3名 監事：3名 社協管理職員：8名
2月5日(金) 18時半～(60分)	福社会会長・事務局長、 自治振興協議会会長・ 福祉部担当部長会議	小地域代表者：27名 関係機関職員：3名(集落支援員1名、 保健福祉課1名、中山間研究センター1名) 社協研修スタッフ：6名

14. 出張及び研修

内 容	場 所	月 日
コロナ禍における災害VC立ち上げ勉強会	松江市	令和2年6月26日
福祉教育推進協議会		7月27日, 3月11日
ふくしの学び合い研修会	大田市	8月3日
日常生活自立支援事業専門員連絡会	松江市	8月4日、1月21日
地域魅力化プログラム体験講座	出雲市	9月1日
社協中堅職員研修	松江市	9月2日
IT活用セミナー	出雲市	9月9日
日常生活自立支援事業支援員研修会	松江市	10月12日
家庭裁判所調停手続研修会		10月16日
島根県西部地震から2年フォーラム	大田市	10月24日
災害ボランティアセンター運営者研修	出雲市	11月10日
あいサポートメッセンジャー研修会		11月18日
災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	美郷町	11月11日
防災士研修会	松江市	2月13, 14日
地域における権利擁護体制作り		3月5日
山陰研究ブックレット刊行記念シンポジウム		3月27日

15. 苦情受付

ありません。

Ⅲ. 在宅福祉課（通所介護事業係）

1. 介護保険事業

(1) 通所介護事業及び介護予防通所介護事業 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用定員	25	25	25	25	25	25
営業日数	26	26	26	27	24	26
実利用者数	52	52	53	54	54	51
延利用者数	315	329	361	383	352	365
（内介護）	224	244	251	279	264	269
（内総合）	91	85	110	104	88	96
1日利用者平均	12.1	12.6	13.9	14.2	14.7	14.0
月別利用率	48.4%	50.6%	55.5%	56.7%	58.7%	56.2%

10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	前年度
25	25	25	25	25	25		
27	25	25	24	24	27	307(稼動日)	308
49	50	46	45	46	46	49.8(月平均)	60.5
393	309	341	256	293	345	4,042(延人数)	4,086
273	215	217	168	174	223	2,801(延人数)	2,839
120	94	124	88	119	122	1,241(延人数)	1,247
14.6	12.4	13.6	10.7	12.2	12.8	13.1(1日平均)	13.4
58.2%	49.4%	54.6%	42.7%	48.8%	51.1%	53%(月平均)	53.1%

新規利用者数		利用再開	利用中止			長期入院
(要介護)	(総合)		(死亡)	(入所)	(その他)	
7	7	0	3	9	13	0

(2) 介護度別 延利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	前年度合計
事業対象	19	22	22	17	17	22	19	16	40	16	16	25	251	357
要支援1	34	31	47	44	24	29	31	31	28	44	33	32	408	502
要支援2	38	32	41	43	47	45	70	47	56	28	70	65	582	388
要介護1	55	57	47	46	51	51	44	34	42	30	48	49	554	781
要介護2	76	88	91	93	87	70	83	68	65	53	48	54	876	1,080
要介護3	33	30	51	82	72	71	59	41	41	32	40	60	612	288
要介護4	21	25	27	27	24	24	30	25	22	15	21	26	287	232
要介護5	39	44	35	31	30	53	57	47	47	38	17	34	472	458
合計	315	329	361	383	352	365	393	309	341	256	293	345	4,042	4,086

3. 高齢者生活福祉センター管理運営事業（受託事業）

（1）居住部門＜8部屋＞

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用実人数	8	8	7	5	5	7	8	9	9	10	9	8

（2）生活管理短期宿泊事業＜4床＞

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用実人数	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1
延利用日数	10	1	0	0	8	6	0	0	3	14	0	3

（3）来島高齢者冬期宿泊センター＜6部屋＞

月 別	12月	1月	2月	3月
利用実人数	4	5	5	5

4. 研 修

月 日	研 修 内 容	開催地
7月9日	令和2年度 雲南地域通所介護部会 管理者会	雲南市
7月8日～9日	令和2年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (中堅職員)	出雲市
8月19日～20日	令和2年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (初任者)	出雲市
8月19日～20日	令和2年度 防火管理講習	松江市
9月30日	令和2年度 新任職員マナー研修	雲南市
	令和2年度 相談支援従事者初任者研修	リモート
11月19日	高齢者施設における感染症対策	WEB
2月16日	人権・権利擁護研修	オンライン
3月19日	高齢者虐待の防止に係る研修会	出雲市

5. 会 議

- （1）高齢者サービス調整会議（月1回）
- （2）サービス担当者会（随時開催）
- （3）職員会（月1回）
- （4）ケース会議（月1回）
- （5）居住施設事業検討会（3月）
- （6）障がい者自立支援協議会地域部会（月1回）
- （7）飯南町地域包括ケア推進局 介護福祉部会（年4回）
- （8）飯南町福祉施設協議会（年4回）

6. 交流事業・実習等受入れ

- （1）来島小学校交流（コロナ禍にて受け入れの実績無し）
- （2）赤名小学校交流（コロナ過にて受け入れの実績無し）
- （3）実習生受け入れ（希望学生不在のため実績無し）
- （4）9月敬老会（三重野 美子様）ゲストとして茶席のイベントを実施

7. 避難訓練

年2回実施

- ① 5月1日…日中想定。 ② 1月15日…夜間想定（手順確認）

8. 苦情受付

ありません。

9. 利用状況

令和元年度と比較すると利用者の実利用者数は大幅に減少するも、延利用者数については大幅な減少はありませんでした。ただ、事業対象、要支援1、要介護1・2の利用者については延利用者数での増加は見られるものの、要介護3の利用者については大幅な減少となりました。

新規利用、利用日の増回、変更等、利用者の希望があれば可能な限り受け入れ態勢を整え対応しましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延などによる様々な環境の変化が影響し心身の状態の変化から入院される方もありました。また、在宅生活が困難になられた方については介護施設に入所されるなど、令和2年度も1日の利用定員に対して平均利用が13人、月平均50%強と前年度と同等の低水準での利用率でした。

障がい利用者については、令和元年度から利用の方が施設入所され、10か月間利用がありませんでしたが、2月より2名の利用希望があり週5回にて利用いただいています。

利用中の意識消失、血圧低下など急な体調不良を起こされる可能性のある利用者においては、未然に防げるよう無理なく過ごしていただき、体調面での変化が見受けられる利用者には家族、担当ケアマネージャーとの連携に努め、病院受診をして頂くなど対応を致しました。今後も継続していきます。

町からの受託事業である居住部門では、心身の状態の変化や医療的な支援を必要とされる方、メンタル面に対して配慮した対応を必要とされる入所者もいらっしゃるため、包括、担当ケアマネージャーと都度連携を図り、情報共有に努めました。

生活管理短期宿泊事業では介護者の入院や、本人が在宅生活が困難であったりDVによる避難など様々な理由での受け入れを行いました。

来島高齢者冬期宿泊センターについては例年と同様の利用がありましたが、利用者同士のコミュニケーションエラーにてトラブルに発展することもあり、包括支援センターと連携し迅速に対応を行いました。次年度については利用者の入所されるタイミング、居室などの選定等含め協議を密にしていく必要があると感じました。

Ⅲ-Ⅰ 在宅福祉課（訪問介護事業係）

1. 主な事業内容

(1) サービス提供内容

①介護保険

- ・身体介護・・・入浴・排泄・食事等の介護・ともに行う支援
- ・生活援助・・・調理・洗濯・掃除・買い物等日常生活上の援助
- ・訪問型サービス・・・身体介護及び調理・洗濯・掃除・買い物などの日常生活自立への支援

②障がい者総合支援（精神・身体障がい・知的障がい）

- ・居宅介護・・・調理・買い物・掃除・入浴介助

(2) その他の主な業務内容

- ・訪問介護計画書の作成、評価、見直し作業の実施
- ・ケース検討の実施（問題の早期解決、サービスの統一）
- ・困難ケースへの対応（多職種との連携強化）
- ・業務記録の整備（利用者の状況把握）
- ・サービス提供時のヒヤリハットの報告

(3) 会 議

- ・飯南町高齢者サービス調整会議（1回/月）
- ・介護予防推進会議（1回/月）
- ・サービス担当者会（随時）
- ・雲南地域訪問介護部会（1回/月）
- ・障がい者支援協議会（1回/月）
- ・課内職員会（1回/月）
- ・地域福祉サービス内部会議（1回/月）
- ・飯南町地域包括推進局介護、福祉部会（1回/月）

(4) 研修会への参加 令和2年4月1日～令和3年3月31日

月 日	研 修 名	参加人数	場 所
8/27	飯南町災害ボランティアセンター設置運営職員研修会	1名	社協内
9/25	新型コロナウイルス感染対策施設内研修（ビデオ研修）	2名	社協内
11/19	産官学連携 高齢者施設における感染症研修会(オンライン研修)	1名	飯南町
1/19	感染症予防課内研修	4名	社協内
2/16	令和2年度人権・権利擁護研修（高齢・障がい分野）	1名	出雲市
3/19	令和2年度高齢者虐待防止訪研修(オンライン研修)	1名	社協内

2. 利用実績

(1) 介護保険 (要介護1～5・要支援1、2・事業対象者)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実利用者数		27	27	25	26	25	28	27
1日平均訪問回数		5.8	6.1	5.9	6.1	6.3	7.2	7.6
身体 介護	訪問回数	55	55	39	61	57	55	55
	実働時間	34:25	34:25	24:45	37:35	33:45	30:55	33:55
身体+ 生活	訪問回数	19	38	35	22	40	43	36
	実働時間	20:55	36:00	38:40	25:10	42:40	46:55	41:00
生活 援助	訪問回数	9	8	12	7	8	7	13
	実働時間	7:09	6:03	9:43	5:30	5:52	5:08	10:07
要支援 I・II	訪問回数	80	78	78	85	75	89	88
	実働時間	73:20	71:30	71:30	77:55	68:45	81:35	80:40
事業対象	訪問回数	12	11	14	17	18	23	21
	実働時間	11:00	10:05	12:50	15:35	16:30	21:05	19:15
合 計	訪問回数	175	190	178	192	198	217	213
	実働時間	146:49	158:03	157:28	161:45	167:32	185:38	184:57

		11月	12月	1月	2月	3月	月平均	前年度平均
実利用者数		25	20	18	20	24	24.3	24.6
1日平均訪問回数		5.8	4.9	4.0	5.0	5.0	5.8	6.9
							年間 合計	前年度 年間計
身体 介護	訪問回数	45	26	20	25	41	534	643
	実働時間	33:45	19:50	13:20	18:55	30:05	345:40	440:31
身体+ 生活	訪問回数	24	23	22	17	32	351	259
	実働時間	23:00	21:35	21:10	16:05	30:40	363:50	314:20
生活 援助	訪問回数	9	8	10	8	5	104	65
	実働時間	7:20	6:47	8:37	6:58	4:24	83:38	50:36
要支援 I・II	訪問回数	82	77	62	67	61	922	761
	実働時間	75:10	70:35	50:35	61:25	55:55	838:55	697:35
事業 対象者	訪問回数	16	18	13	15	18	196	224
	実働時間	14:40	16:30	11:55	13:45	16:30	179:40	205:20
合 計	訪問回数	176	152	127	132	157	2,107	1,949
	実働時間	153:55	135:17	105:37	117:08	137:34	1,811:43	1,706:32

(2) 障がい者総合支援（居宅介護）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	39
実訪問回数	9	7	8	8	7	8	9	7	14	12	18	38	145
身体日中延時間	11:30	10:00	10:30	10:30	10:00	10:30	11:30	10:00	17:30	13:00	15:00	24:30	154:30
家事日中延時間	2:30	2:00	2:00	2:30	2:50	3:00	3:00	2:00	2:30	2:00	2:00	3:00	29:20

3. 職員の健康管理・・・年一回以上の健康診断、予防接種の実施、検便の実施
感染予防の実施（出勤前の検温、手指消毒、マスク着用、うがいの励行）
訪問中の事故に合わないよう気を付ける。

4. 苦情受付
ありません。

5. 利用状況

今年度の利用状況は、昨年に引き続き軽度者（要支援）の利用（週1～2回程度）が増加しました。

身体介護サービスの利用は、新規の方もありましたが、入院入所される方があり減少しました。

年度後半より、障がいサービスでの利用者が増加し頻回に訪問を行いました。

疾患の内容も様々で、ケア方法も職員間で相談し連携を取り、また「できる限り在宅で過ごしたい」との希望のもと、利用者の気持ちに添いながら支援を行いました。

コロナ禍の中、サービス全体において常に感染予防に留意し行いました。これからも情報を共有し予防に努めます。

IV. 特別養護老人ホームあかぎの里

1. 利用状況（稼働状況）

【入所 43床】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
入所者	0	0	2	0	0	1	1	3
退所者	0	1	1	0	1	1	2	1
入院実人数	2	3	6	2	5	6	6	1
利用延べ日数	1,275	1,303	1,236	1,312	1,272	1,214	1,245	1,248
稼働率	98.8%	97.7%	95.8%	98.4%	95.4%	94.2%	93.4%	96.7%

12月	1月	2月	3月	平均・合計	前年度
0	0	1	0	8	12
0	0	1	0	8	12
3	8	7	8	4.8	4.3
1,310	1,240	1,106	1,258	1,252	1,244
98.3%	93.0%	91.9%	94.4%	95.7%	94.9%

(入退所状況)

新規入所者	要介護1		退所理由	非該当	
	要介護2			救急搬送	
	要介護3	3		病院での逝去	2
	要介護4	2		退院見込なし	2
	要介護5	3		施設看取り	4

【短期入所 7床】（障がい者利用含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
利用延べ人数	122	112	164	159	144	143	176	151
1日平均利用者数	4.1	3.6	5.5	5.1	4.6	4.8	5.7	5.0

12月	1月	2月	3月	平均・合計	稼働率	
148	152	178	234	1,883	73.7%	
4.8	4.9	6.4	7.5	5.16		
				前年度	5.38	76.8%

2. 主な状況報告

- 令和2年度の稼働率は、本入所 95.7%（目標値 95%）、短期入所 73.7%（目標値 72%）という結果となり、短期入所については年度合計では、前年度より約3%利用が減少したところがございますが、年度後半から利用が大幅に上昇し、現状（今春）としては常に90%を超える利用をいただいているところでございます。この要因は他の事業所の

入退所や運営状況が影響しているものと思われます。

- 2) 今年度は世界的問題でもある、「新型コロナウイルス感染症」対策に多くの時間を費やしたところでございます。衛生用品の品薄な状況や価格高騰への対応に始まり、職員への外出自粛要請、外出時の届け出等の措置を講じてきました。また、入居者への面会も中止・制限・解除を繰り返し、家族、親族には現在もご不便をおかけしているところでございます。

また、現実に施設で発症した場合に備えて、予防衣の着脱の練習や施設内のゾーニング（エリア分け）についても雲南保健所の指導をいただく中で、協議を重ねてまいりました。

予定していた会議、出張、行事、研修（内部研修含む）もほとんどが中止あるいは後半からはオンラインとなり、実行できない計画が多い結果となりました。

- 3) 大規模修繕については、①当初計画しておりました施設内全館 LED 入替工事（契約額 4,400,000 円）を予定通り執行。②浴室給湯管が老朽化に伴い漏水が発生し、管の交換工事を補正予算により対応（契約額 857,000 円）。

物品の購入等については、前年度に引き続き、③島根県介護ロボット等導入支援事業費補助金の交付を受け、「離床センサー付 3 モーターベッド」4 台を更新（総額 1,447,600 円 補助確定額 656,000 円）、④施設内居室のエアコン 2 台の更新（契約額 320,540 円）、⑤国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業として、全職員に一律 50,000 円の介護慰労金を配付（4,750,000 円 保育所除く）、さらに感染症対策に係る物品に対する補助（2,990,000 円）を合わせて 7,740,000 円（全事業所分）の交付を受けました。

- 4) 引き続き、業務改善委員会を開催し、これまでは労働時間や業務効率、それに伴う効果について重点的に協議を重ねてきましたが、令和 2 年度は職員同士の「連携」や「フォロー」についても話し合いを重ね、多職種協働を意識した労働環境づくりを継続して進めています。

3. 会議開催状況

- 主任・リーダー会（内部：毎月 1 回）
- 各グループ会（内部：毎月 1 回）
- 高齢者サービス調整会議（外部：毎月 1 回、リモートあり）
- 飯南町地域包括ケア推進局 介護福祉部会（不定期、リモートあり）
- 飯南町福祉施設協議会（不定期、リモートあり）
- 入所検討会議（令和 2 年度：4 回開催）
- あかぎの里運営推進会議（年：6 回、文書配布のみの場合あり）
- 業務改善のための施設内会議（不定期）
- 職員全体会（中止）

4. 地域交流・ボランティア受入れ

- シーツ交換ボランティア（定期）
- 書道ボランティア（定期）
- 喫茶ボランティア（定期）
- 飯南高校茶道部 納涼茶会 中止

○赤来中学校 吹奏楽部演奏会 中止

○飯南高校 JRC 部 中止

5. 実習等受入れ

中止としました。

6. 行事

月 日	内 容
中止	令和2年度 あかぎの里家族会
中止	あかぎの里 家族会環境整備
7月27日	令和2年度 夏祭り
中止	納涼茶会 飯南高校茶道部
9月23日	令和2年度 あかぎの里敬老会
12月17日	クリスマス・忘年会
12月23日	餅つき
中止	新年会

7. 内部研修

月 日	内 容
8/24、3月リモート	事故発生防止のための研修(ポジショニング)
5/19、2月リモート	感染症対策研修
8/24、3月リモート	身体拘束・高齢者虐待防止研修
8/24、2月リモート	事故発生防止(緊急時対応研修)
8/24	褥瘡ケアについて

8. 研修・出張・会議参加状況

月 日	用 務 内 容	用務地
6月24日	雲南圏域コロナ感染症対策実務者連絡会	WEB
8月26日	新型コロナ感染症研修会	三刀屋
9月3日	雲南圏域コロナ感染症対策実務者連絡会	WEB
11月15日	島根県感染症対策セミナー	WEB
11月19日	産官学連携 高齢者施設における感染症	WEB
12月4日	ハサップを取り入れた衛生管理	木次
12月14日	会計実務研修	松江市
12月14日	キャリアアップ講習会	松江市
2月12日	能力開発セミナー	松江市
3月16日	コロナ クラスタ発症施設から学ぶ	WEB
3月18日	クラスタ発症時対応 医師から学ぶ	WEB

9. 苦情受付

ありません。

VI. 居宅支援課

1. 職員体制

(1) 介護保険 介護支援専門員 4名：うち主任介護支援専門員 2名

(2) 障害支援 相談支援専門員 1名（兼務）

2. 利用状況

(1) 介護保険利用者実績

	事業 該当	支援 1	支援 2	支 援 合 計	前年 合計	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	介 護 合 計	前年 合計
4月	8	13	16	37	31	35	31	21	5	5	97	101
5月	7	13	17	37	32	31	30	24	6	6	97	107
6月	8	11	18	37	29	31	33	23	6	6	99	106
7月	7	11	17	35	32	30	30	25	9	7	101	105
8月	7	10	16	33	29	30	31	23	8	7	99	104
9月	7	10	16	33	30	30	30	22	8	7	97	102
10月	6	12	18	36	28	28	30	21	9	6	94	102
11月	5	14	17	36	27	27	27	18	9	7	88	103
12月	5	16	18	39	27	27	26	15	9	6	83	98
1月	3	16	18	37	32	28	28	15	9	6	86	97
2月	3	15	19	37	35	29	27	14	10	5	86	95
3月	4	15	16	35	36	30	28	15	9	4	87	97
合計	70	156	206	432	368	356	351	236	97	72	1114	1217
平均	5.8	13.0	17.2	36.0	30.6	29.7	29.2	19.7	8.1	6.0	92.8	101.5
前年 平均	8.3	11.5	10.8	30.6		34.3	36.3	18.8	7.3	4.8	101.5	

1) 介護保険利用者割合 (%)

	事業該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
今年度	4.5	10.1	13.4	23.1	22.7	15.3	6.3	4.6
前年度	6.3	8.7	8.2	25.9	27.4	14.2	5.6	3.7

2) 新規件数

新規：29 件

予防 7 件

事業該当	0
要支援 1	3
要支援 2	4

介護 22 件

要介護 1	9
要介護 2	6
要介護 3	4
要介護 4	3
要介護 5	0

3) 終了件数

終了：44 件

予防 4 件

居宅変更	0
入所	4

介護 40 件

施設入所	18
死去	18
居宅変更	4
未更新	0

4) 介護認定訪問調査

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
件数	4	4	0	2	3	3	7	1	4	3	6	4	41	3.4

○前年度平均…6.25 件

(2) 障害者相談支援実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プラン作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1 件
モニタリング	0	1	0	0	1		0	0	0	0	0	0	2 件

○契約件数 … 3 件 (5 月 1 件介護へ移行)

3. 事業状況

(1) ケアプラン作成(基準第 13 条関係)

1) アセスメント(課題分析)→ケアプラン(原案)作成→サービス担当者会→説明・同意
→モニタリング→給付管理票作成

(2) 介護居宅支援特定事業所加算 (Ⅱ) 算定体制

1) 特定事業所加算に係る基準の順守

①利用者に関する情報、処遇対応の検討、プラン作成に関すること、サービス提供にあたっての留意事項にかかる伝達を目的とした会議を開催しました。

毎金曜日	ミーティング・所内定例会
------	--------------

② 24 時間連絡相談受け入れ体制確保

夜間、休日は輪番制による携帯電話での相談対応を行いました。

③計画的研修の実施

介護支援専門員、個別の研修計画作成し計画的に研修を実施しました。

④困難事例の受け入れ体制確保

包括支援センターと受け入れ時の対応を協議しながら受付を行い、主任介護支援専門員や専門職等とも処遇検討しながら支援にあたりました。

⑤介護支援専門員一人当たりの担当件数 40 名未満

平均 35 件以内で担当しました。

⑥介護支援専門員実務研修における実習受け入れ

令和 2 年度は実習割り当てがありませんでした。

2) 各種会議・研修の開催・参加状況

①各会議の開催と参加

- ・定例会議（課内・法人）

月 1 回	課内会議	月 1 回	運営検討会議 地域福祉サービス内部会議
-------	------	-------	------------------------

- ・所外会議（オンライン含む）

月 1 回	高齢者等サービス調整会議	月 1 回	行政が開催する事例検討会等
月 2 回	地域ケア会議（医療）	月 1 回	飯南町自立支援協議会連絡会
月 1 回	飯南町居宅介護支援部会		

②計画的研修に沿った研修実施

月日	研修先	内容	参加者
8月9日	飯南町	言語聴覚士の仕事	4名
9月11日	飯南町	雲南圏域ゲートキーパー養成研修	4名
9月16日	飯南町	医療と介護の連携	4名
2月25日	オンライン	難病従事者研修会	4名

※11月3月に予定されていた雲南圏域研修会は新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

(3) 運営基準（基準第13条関係）の遵守

介護支援業務の実践を自己、他者とで点検を行い適正な介護請求事務を行いました。
内部監査（1回）

(4) 事業所自己評価の実施

雲南地域介護サービス事業居宅介護支援部会で実施している評価項目をもとに自己評価を行いました。

4. 状況報告

- ・例年に比べ新規の要介護利用者が少なく、また、施設入所やお亡くなりになるケースも多く見込んだ実績には至りませんでした。
- ・転倒や疾患の悪化、進行によりサービスを増やすなどプラン変更が必要になるケースが多く、介護度の見直しをした件数が23件と多くありました。
- ・一人暮らしや重度の疾患がある方は、健康上の不安、介護者の負担(介護者不在)、サービス料など経済的負担などで在宅継続よりも施設を希望されるケースが多いです。
- ・認知症の影響や家族、周囲との関係により必要な支援を求められず、生活が整わないケースもありました。介護サービス以外の調整や、関係作りに時間をかけながら生活支援を行いました。
- ・医療との連携では飯南病院をはじめ連携の仕組みが進み、定期受診、入院、退院時には本人や家族の不安がないように連携しましたが、感染症の影響で面会制限がある中、状態確認や家族の介護受入など調整に苦慮しました。
- ・軽度の方では介護サービスを受けることで生活安定が図れたり、リハビリや薬剤師など専門職の指導により改善されるケースもありました。

5. 苦情受付

ありません。

総合相談業務(包括支援センターブランチ業務)

1. 事業状況

(1) 相談業務実績

1) 相談内容・件数

月	件数	相談方法	相談内容	対応	
4月	2件	電話 本人	デイサービスの利用について	包括へつなぐ	
		来所 家族	独居 退院後のサービス利用について	包括へつなぐ	
8月	3件	来所 家族	独居 退院後のサービス利用について	包括へつなぐ	
		来所 家族	要介護認定の申請について	包括へつなぐ	
		訪問 本人 家族	福祉用具、住宅改修について	包括へつなぐ →利用契約	
10月	2件	訪問 本人 家族	高齢夫婦 泊りサービスの利用について	包括へつなぐ	
		来所 親族	町外在住者 親族宅での介護サービス利用について	居宅変更相談	
		訪問 本人 家族	住宅改修、福祉用具の利用について	包括へつなぐ →利用契約	
1月	1件	来所 家族	県外から転居 介護サービス利用について	包括へつなぐ	
2月	2件	来所 家族	福祉用具の利用について	用具貸出	
		来所 家族	福祉用具の利用について	用具貸出	
3月	3件	来所 近隣	高齢世帯 相談	包括へ情報提供	
		訪問 本人 家族	独居 生活相談	包括へ情報提供	
		来所 家族	福祉用具の利用について	用具購入	
相談件数	13件	介護申請	2件	居宅利用契約	2件

1) 相談状況

受け付けた相談は包括支援センターへつなぎ、必要によって訪問しサービス利用の啓発、経過の見守りを行いました。

(2) 家庭介護者交流事業

1) 介護者リフレッシュ交流会の開催

開催月日	内容	
11月	「交流会・アロマ講習」 「最新介護用品(排せつ用具)の紹介」	⇒中止

※新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

(3) 各関係機関との連携

包括支援センターとの連携	毎週	包括支援会議の情報共有
各種会議の開催・参加	月1回	保健・介護・福祉連絡会
	随時開催	法人内での地域高齢者の情報や地域課題共有を目的とした連絡会

VII. 保育所

1. 令和2年度児童数異動一覧・・・・・・・・41頁

*令和2年度 育了児童数

保育所名	赤名保育所	来島保育所	桜ヶ台保育所	さつき保育所	合計
育了児童数	2名	4名	11名	4名	21名

2. 土曜保育利用状況 ・ 一時預かり保育利用状況

保育所名	赤名保育所	来島保育所	桜ヶ台保育所	さつき保育所	合計
土曜保育登録人数	4	7	7	2	20
土曜保育利用最高人数	4	2	3	1	10
一時保育利用延人数	2	6	3	1	12

3. 実施した主な行事

開催月	内 容
4月	入所式
5月	親子遠足、地域開放日等中止
6月	保育公開日等中止
7月	プール開き、七夕会、オンライン交流(さつき・頼中)
8月	プール遊び、川遊び、ALT訪問
9月	運動会
10月	遠足、自然体験活動
11月	オンライン交流(赤中・赤名、来島保育所)
12月	お楽しみ会、クリスマス会

1月	新年こども会
2月	節分豆まき
3月	ひなまつり会、お別れ会、育了式

*その他

- ・自然体験活動・・・7月から実施（各保育所月1回程度）
- ・読み聞かせ・・・7月から実施（町立図書館、赤名小学校、高校 JRC）
- ・避難消火訓練、身体測定、誕生会・・・月1回実施
- ・内科健診・・・年2回
- ・歯科検診・・・年1回
- ・尿検査（4～5才のみ）・・・年1回
- ・クラス懇談会・・・年1回
- ・実習生受け入れ（桜ヶ台保育所）

4. 職員研修会の参加

開催月	飯南町保育所合同	雲南保育協議会	県社協、県保協	その他の研修
4月		研究委員会 代表者会 施設長会 保育士部会		
5月				
6月				
7月		研究委員会 代表者会、理事会		
8月	保育所職員研修会 (特別支援1回目)		新任職員研修	
9月		研究委員会 施設長会		
10月	保育所職員研修会 (特別支援2回目)			
11月	保育所職員研修会 (特別支援3回目)	研究委員会 調理担当者部会 施設長会		
12月		公開保育発表会 (桜ヶ台保育所)		
1月				ふるさとシン ポジュウム (リモート)
2月		施設長会 理事会		
3月				

5. 各種会議の開催

- ・ 所長、主任保育士合同会議・・・月1回
- ・ 臨時所長会（コロナ対応）・・・4月（今後の対応）、5月（連休対応）、7月（雲南市発生）、8月（運動会対応）、1月（今後の対応）
- ・ 職員会議（各保育所で実施）・・・随時
- ・ 低月齢児受け入れ検討会・・・9月、10月、11月
- ・ 苦情処理第三者委員との情報交換会・・・2月

6. 子育て支援センター活動報告

集いの広場「ほっとcafé」開催・・・毎週1回（水曜日）

<「ほっと。C a f e」利用状況>

月	利用数	月	利用数	月	利用数
4月	中止	8月	13組	12月	30組
5月	中止	9月	31組	1月	32組
6月	6組(2回)	10月	29組	2月	33組
7月	11組	11月	36組	3月	26組

* 4月、5月は新型コロナウイルス感染予防のため、開催中止としました。

利用者数合計：247組 月平均：25組 1回平均7組

<令和2年度活動内容>

月	活動内容	備考	参加数
7月15日	食講座（離乳食）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	3組
8月19日	食講座（おやつ）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	3組
9月2日	ベビーマッサージ	指導：須山助産師（雲南市）	7組
9月16日	食講座（大人）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	6組
10月28日	食講座（離乳食）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	7組
11月4日	ベビーマッサージ	指導：須山助産師（雲南市）	12組
11月18日	食講座（大人）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	5組
12月16日	食講座（おやつ）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	9組
1月20日	食講座（離乳食）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	9組
2月17日	リフレッシュ講座	指導：前田美佳氏	4組
2月24日	食講座（大人）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	3組
3月17日	リフレッシュ講座	指導：前田美佳氏	6組

7. ファミリーサポートセンター

おねがい会員・・・2名 まかせて会員・・・15名

利用回数・・・2回

8. 保育士確保対策事業

①保育士養成校への募集案内

< 1回目 >

実施日：令和2年6月18日

訪問校：大阪健康福祉短期大学

< 2回目 >

実施日：令和2年6月19日

訪問校：トリニティカレッジ出雲

山陰中央専門大学校

< 3回目 >

実施日：令和2年9月8日

訪問校：島根県立短期大学部 松江キャンパス

山陰中央専門大学校

大阪健康福祉短期大学

出雲コアカレッジ

トリニティカレッジ出雲

9. 苦情受付

来島保育所保護者の方から様々なご意見をいただき対応を重ねましたが、解決に至らず、令和2年11月30日に苦情解決第三者委員会を開催いたしました。

さらに、令和3年3月26日に苦情解決第三者委員会からの回答書を来島保育所保護者全員に開示いたしました。

令和2年度 保育所入・退所児童一覽表

	桜ヶ台保育所					さつき保育所					赤名保育所					来島保育所				
	0歳	1・2歳	3歳	4歳以上	計	0歳	1・2歳	3歳	4歳以上	計	0歳	1・2歳	3歳	4歳以上	計	0歳	1・2歳	3歳	4歳以上	計
4月1日	2	8	13	16	39	0	4	0	6	10	1	15	10	10	36	1	15	5	18	39
4月異動					0					0										
4月末日	2	8	13	16	39	0	4	0	6	10	1	15	10	10	36	1	15	5	18	39
5月異動	1				1					0					0	1				1
5月末日	3	8	13	16	40	0	4	0	6	10	1	15	10	10	36	2	15	5	18	40
6月異動	1	1			2					0					1	1				2
6月末日	4	9	13	16	42	0	4	0	6	10	2	15	10	10	37	3	16	5	18	42
7月異動										0	1			0	0	1				0
7月末日	4	9	13	16	42	0	4	0	6	10	3	15	10	10	38	4	16	5	18	43
8月異動					0					0	1				1					0
8月末日	4	9	13	16	42	0	4	0	6	10	4	15	10	10	39	4	16	5	18	43
9月異動	1	-1			0					0					0					0
9月末日	5	8	13	16	42	0	4	0	6	10	4	15	10	10	39	4	16	5	18	43
10月異動					0					0						1				0
10月末日	5	8	13	16	42	0	4	0	6	10	4	15	10	10	39	5	16	5	18	44
11月異動					0					0	1			1	0					0
11月末日	5	8	13	16	42	0	4	0	6	10	5	15	10	11	41	5	16	5	18	44
12月異動	1				1					0					-1					0
12月末日	6	8	13	16	43	0	4	0	6	10	5	15	9	11	40	5	16	5	18	44
1月異動	1				1					0	1			1	2	1				0
1月末日	6	8	13	16	44	0	4	0	6	10	6	15	10	11	42	6	16	5	18	44
2月異動										0					0					0
2月末日	7	8	13	16	44	0	4	0	6	10	6	15	10	11	42	6	16	5	18	44
3月異動	1	1			2					0					0					0
3月末日	8	9	13	16	46	0	4	0	6	10	6	15	10	11	42	6	16	5	18	44